



指宿市制施行10周年記念 時遊館COCCOはしむれ企画展 指宿まるごと博物館Ⅶ



海はすごい！
琉球・南島との海物語



指宿市考古博物館

時遊館 COCCO はしむれ

海の学び
ミュージアム
サポート



日本
財団
THE NIPPON
FOUNDATION

1 あいさつ文

私たちが暮らす指宿市は九州島最南端に位置し、南の島々や沖縄（琉球）へと続く海が望めます。

指宿から見える南の島々は、三島村の硫黄島や竹島、黒島等です。私たちの先祖は、その見える島を足がかりにし、南のそのまた南の先にある島々や琉球へと渡っていったことでしょう。

今回の企画展は、国民文化祭に関連し身近にある海を越え、南島や琉球の人ともの交流を中心に紹介します。

指宿の歴史や文化、芸能、民俗、風習など、私たちの生活に密着している様々なことは、黒潮による交流によって作り上げられたものです。目の前に広がる海は、人やものの交流のためになくてはならないものです。この機会に、「海を知り」、「海に親しみ」、「海を守り」、「海を利用する」ことを学んで頂き、これから未来の「人と海との共生」について考える機会にして頂ければ幸いです。

2 展示構成

第1章 指宿のまわりの海を知ろう！

第2章 海が運んだ品々

第3章 海が伝えた風習と伝統行事

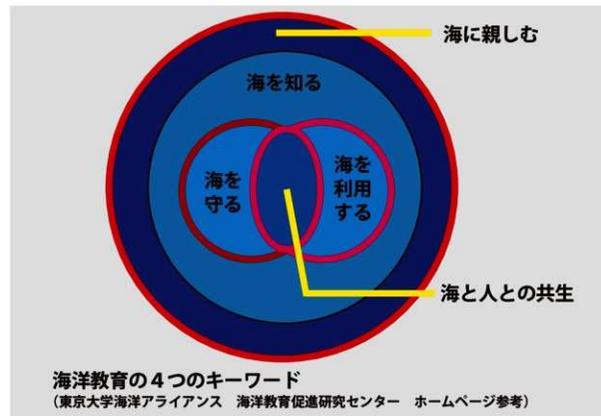
第4章 琉球と海洋交流

第5章 指宿の海運業者たち

第6章 海と人との共生

- この図録は、指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ 平成 27 年度企画展 指宿まるごと博物館Ⅳ「海はすこい！ 琉球・南島との海物語」で展示を行った内容を基にまとめたものである。
- 企画展は、公益財団法人 日本海事科学振興財団 船の科学館による「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けて開催した。
- 企画展は、平成 28 年 1 月 23 日から平成 28 年 3 月 6 日の期間で開催した。
- 企画展を開催するにあたり、下記の施設や個人から多大なるご協力とご配慮を頂いた。記して感謝申し上げます。(五十音順・敬称省略)
浦添市美術館、沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、海上保安庁第十管区海上保安部、鹿児島県立博物館、鹿児島県立埋蔵文化財センター、鹿児島県歴史資料センター黎明館、鹿児島大学、鹿児島水圏生物博物館、国立劇場おきなわ、尚古集成館、三島村、那覇市立壺屋焼物博物館、那覇市立博物館、ミュージアム知覧
市村哲二、岩坪洗樹、上田 耕、園原 謙、大岩根尚、大城 學、大山修一、岡本亜紀、柿島光子、片桐千亜紀、金城亜弥香、金城聡子、倉成多郎、桑江幸枝、古塚達朗、古波蔵ひろみ、高良倉吉、仲窪久直、比嘉立広、肥後隆志、外間一先、外間政明、宮里正子、茂木仁史、森永金男、山崎真治
- 後援団体
公益財団法人 指宿市観光協会、指宿まるごと観光ガイド、いぶすきジオパーク研究会
- 助成支援
公益財団法人 日本海事科学振興財団 船の科学館 「海の学びミュージアムサポート」

わたしたちと海



海に囲まれた日本に住む私たちにとって、海はなくてはならないものです。これからの未来にむけて、私たちはどのように海と関わっていけばよいのでしょうか。

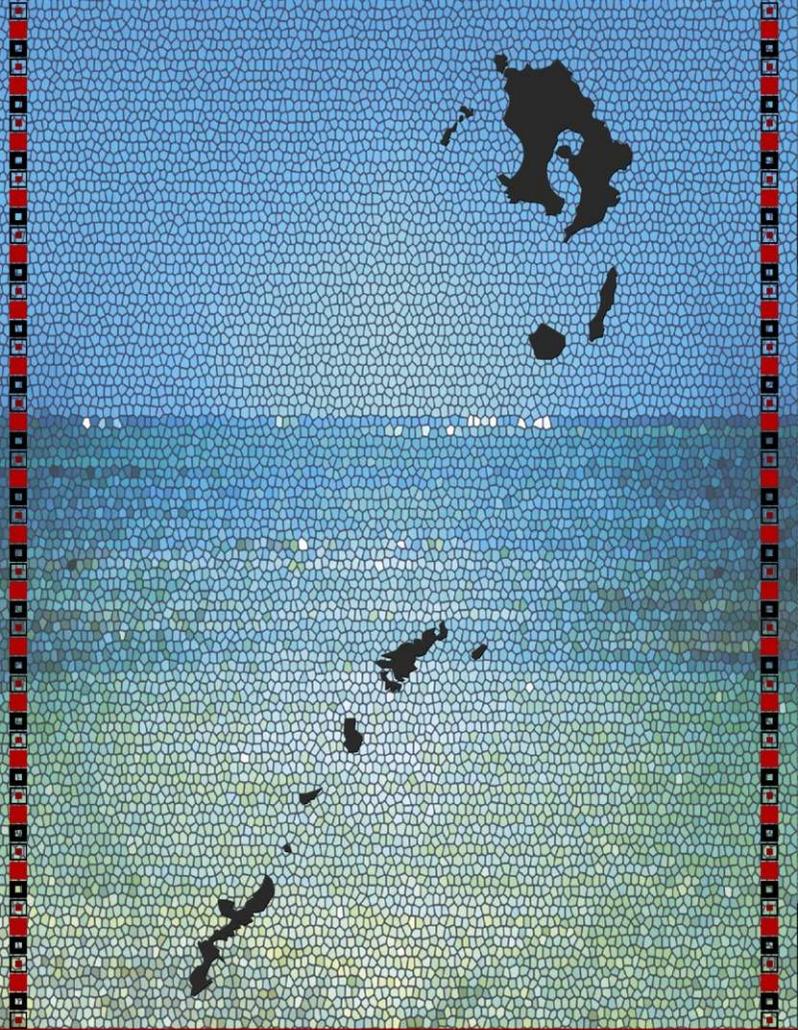
そこで、今回の企画展では「海洋教育」の理念を取り入れました。

「海洋教育」とは、「海に親しみ」、「海を知り」、「海を守り」、「海を利用する」学習を推進する教育のことです。

まず、企画展に先立ち、昨年の夏休みに田良浜で磯遊びをしました。磯ではカニやエビ、イソギンチャク、ナマコ、貝など、さまざまな生き物を観察し、「海に親しみ」、「海を知る」ことができました。併せて、漂着物を集める清掃作業も行い、身近な海の黒潮の流れについて知ることもできました。そして、人類が誕生してから数万年以上、先人たちが「海を利用した」、さまざまな人との交流の一端を紹介しました。

目の前には、土器や貝輪、陶磁器、琉球漆器、壺屋焼などを琉球や南の島々からもたらした海があります。

今、私たちの視点で「海と人との共生」について考えてみませんか。



時遊館 COCCO はしむれ 企画展
指宿まるごと博物館
海ほすてい！ 時遊・有景との海物語
企画展 図録

編集・発行：指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ
鹿児島県指宿市十二丁2-290番地
TEL 0993-23-5100 FAX 0993-23-5000
HP：http://www.minc.ne.jp/cocco
印刷：有限会社指宿新生社印刷
鹿児島県指宿市東方8068-3 TEL 0993-24-2002

海の学び Supported by
ミュージアム 日本 財団
サポート THE NIPPON
FOUNDATION